第 41 回岐阜県移動美術館　ひとをかくひと

会　　期：2016 年 9 月 17 日（土）～10 月 23 日（日）〈32 日間〉
会　　場：企画展示室、美術工芸展示室
展示作品：32 点
観　覧　料：300 円（200 円）、高校生以下無料
　　（ ）は 20 名以上の団体料金　かるちすとくらぶ会員は無料
入場者数：883 人

内　　容

1982 年の開館以来、県民の文化芸術活動の拠点として親しまれる岐阜県美術館。岐阜県に関係する作家の作品やオディロン・ルドンの収蔵を収集方針の柱として、現在 4000 点を超える美術作品を収蔵しています。

岐阜県美術館は、この地域を支えた近現代の作家研究を先駆的に行ってきました。その功績は、充実した近現代美術コレクションに反映されています。今回の移動美術館では、それらの中から人物画に焦点を当てた展覧会となりました。明治期以降から現代に至る日本画・洋画 32 点を展覧しました。

明治時代、油絵を志した者たちは西欧の絵画技法に触れ、日本の画題を探し描くことに腐心しました。また日本画家は、日本画の画材を用いながら西洋風の描写を採りいれるような新しい表現に挑んでいきます。時代を下るにつれ、日本画と洋画という技法の枠を超えた自由な展開も生まれてきます。

西欧美術の思想を受け、自己をモデルとした内省的な自画像、親しい人々を描きのこした肖像画、女性の美を讃える美人画、西欧の表現技法を用いて日本の人々の暮らしを表そうとした風俗画など、近現代の人物画は、作家の様々な意図や作家と描かれた人物との心理的な関係を表すものです。

そうした人物画には、作家自身の「ひと」に対する鋭い洞察の跡がのこされています。そしてまた、移りゆく時代の中で新しい技法や画題への探求に心を傾けた、作家たちの意志が見えてきます。本展では絵画に描かれた「ひと」と、誰かを描こうとした「ひと」たちのまなざしと思いを探ります。

関連行事

■ミュージアムフォーラム「ひとをかくとき―岐阜県美術館の所蔵作品を中心に」
　9 月 24 日（土）　14:00～15:30　研修室　参加料：無料　　参加者：22 人　講師：土屋禮一氏

■ミュージアムトーク
　9 月 25 日（日）　10:00～11:30　企画展示室、美術工芸展示室　参加料：無料
　参加者：6 人　　講師：当館学芸員
　10 月 8 日（土）　13:30～14:30　企画展示室、美術工芸展示室　参加料：無料
　参加者：6 人　　講師：当館学芸員

出品作品リスト　　第41回岐阜県移動美術館　ひとをかくひと

2016年7月16日（日）～8月28日（日）

日本画

1	川﨑小虎	聖書を持つ少女	紙本着色	68.0×41.0cm	1912～16（明治45～大正5）年
2	篠田柏邦	苗とり	絹本着色	176.0×192.0cm	1920（大正9）年
3	篠田柏邦	黄衣	絹本着色	134.5×185.5cm	1934（昭和9）年
4	佐々木尚文	稚児文殊	絹本着色	126.5×41.5cm	昭和初期
5	佐々木尚文	江口普賢	絹本着色	126.5×41.6cm	昭和初期
6	玉舎春輝	北陸の朝市	絹本着色	206.8×174.8cm	昭和初期
7	長谷川朝風	琉球二題 市舗（下絵）	紙本着色・素描	26.2×53.5cm	1941（昭和16）年
8	長谷川朝風	天草朱夏（下絵）	紙本着色・素描	33.5×54.5cm	1949（昭和24）年
9	長谷川朝風	疎水長閑（草稿）	紙本着色・素描	31.4×36.7cm	1953（昭和28）年
10	長縄士郎	店粧	紙本着色	175.2×223.8cm	1952（昭和27）年
11	長縄士郎	浴室	紙本着色（パステル、鉛筆）・素描	50.0×34.0cm	1957（昭和32）年
12	長縄士郎	涼	紙本着色・素描	52.3×37.0cm	1966（昭和41）年
13	長縄士郎	古城	紙本着色・素描	42.7×39.8cm	1969（昭和44）年
14	長縄士郎	暮れる	紙本着色・素描	40.7×28.6cm	1979（昭和54）年
15	前田青邨	出羽海部屋（下図）	紙本墨画、画巻	各36.6×50.7cm	1963（昭和38）年
16	加藤東一	残照の浜	紙本着色	174.0×216.5cm	1970（昭和45）年
17	土屋禮一	Y子	紙本着色	105.0×234.0cm	1974（昭和49）年

洋画

18	山本芳翠	福地源一郎の肖像	油彩、画布	55.0×42.8cm	1876～77（明治9～10）年頃
19	窪田喜作	農家	油彩、画布	89.0×112.0cm	1900（明治33）年
20	渡部審也	房州風景	油彩、画布	60.5×166.2cm	1910～20（明治43～大正9）年頃
21	岸田劉生	自画像	油彩、画布	45.5×38.0cm	1914（大正3）年
22	藤島武二	公子像	油彩、板	44.2×32.3cm	1920（大正9）年頃
23	大久保作次郎	青物市場	油彩、画布	150.0×210.5cm	1930（昭和5）年
24	北蓮蔵	藁打つ女	油彩、画布	105.0×84.0cm	1931（昭和6）年
25	大沢昌助	夏の日	油彩、画布	145.5×112.1cm	1938（昭和13）年
26	鈴木誠	アイロンかけ	油彩、画布	90.9×72.7cm	1944（昭和19）年
27	北川五郎	母の像	油彩、画布	70.9×58.0cm	1946（昭和21）年
28	北川五郎	父の像	油彩、画布	72.3×52.8cm	1948（昭和23）年
29	坂井範一	腰かけた女	油彩、画布	60.7×73.0cm	1948（昭和23）年
30	坪内節太郎	蹋る	油彩、画布	90.9×72.7cm	1949（昭和24）年
31	山川利夫	剣技	油彩、画布	162.5×130.5cm	1976（昭和51）年
32	小笠原宣	行商	アクリル、画布	105.0×234.0cm	1985（昭和60）年